

平成27年度第2回奈良市子ども・子育て会議子ども条例部会会議録			
開催日時	平成27年10月8日(木) 午前10時から正午まで		
開催場所	奈良市役所 北棟6階 第22会議室		
出席者	委員	浜田委員、岡田委員、北岡委員、栗本委員、竹村委員、横尾委員、和田委員【計7人出席】(欠席者 0人)	
	事務局	【子ども未来部】 乾部長、中川次長、川尻参事、島岡子ども政策課長、岡崎こども園推進課長、栗山保育所・幼稚園課長、野儀子育て相談課長 【保健所】 嵯峨健康増進課長 【教育委員会事務局】 小川教育政策課長補佐 【学校教育部】 亀井学校教育部長 坂本いじめ対策生徒指導室長 鈴木地域教育課長	
開催形態	公開(傍聴人 0人)	担当課	子ども未来部子ども政策課
議題 又は 案件	1 報告事項 (1) 平成27年度奈良市子ども会議について 2 議題 (1) 奈良市子ども会議の検証について (2) その他		
決定又は取り 纏め事項	1 平成27年度奈良市子ども会議開催状況について報告を行った。 2 来年度の子ども会議開催に向けて、今回出された運営に関する意見等を踏まえ、来年度の子ども会議の運営案の検討を進める。 3 今年度の奈良市子ども会議で出された意見に対する回答は調整中であり、次回の奈良市子ども・子育て会議でお示しできるよう進める。		
議事の概要及び議題又は案件に対する主な意見等			
1 報告事項 (1) 奈良市子ども会議の検証について 事務局より、平成27年度奈良市子ども会議について報告しました。 意見 ○浜田部会長 ・参加者の出席率も高く、非常によかった。ただ、テーマが多岐にわたったので、議論を深めにくいところがあったと思います。 ・出された意見にどう応答していくかが重要です。また、今回の子ども会議では少数者の意見を聞くところまではできていないので今後の課題かと思っています。また、参			

加者の意見に対して、実現できないことについては、できないことをわかるように回答すればよいと思います。

○和田委員

・参加者の年齢幅が広いながらも、話し合いはよくできていたと思います。

○栗本委員

・意見発表の練習のところから見させてもらったが、参加者たちは本番に向けて一生懸命、練習を行い、チームワークがあると感じました。

○岡田委員

・参加者が「色々な意見をまとめて一つにしていくことは大変だったが、自分にとって良かった」と感想を述べていて、そういったことが理解できたのであればすごく良かったのではないかと思います。

2 議題

(1) 奈良市子ども会議の検証について

事務局より、奈良市子ども会議の検証について説明しました。

意見

○横尾委員

・参加者募集の際、「子ども会議でどのような意見が出されて、どのように変わったか」という内容を掲載すれば、会議の魅力が伝わるのではないかと思います。

○北岡委員

- ・各学校への案内の際、先生にお願いしてチラシを人数分（せめて6年生だけでも）コピーしてもらい、チラシが1人ずつに配られるようにした方がいいと思います。
- ・おやつ時間を特別に設けなくてもいいのではないのでしょうか。
- ・チラシに「他の学校の色々な年齢の子と友達になれる」こと等を掲載したらいいのではないかと思います。

○和田委員

- ・チラシを配布する際、学校だけでなくPTAからも協力をしてもらい配布してもらうこともできるのではないかと思います。
- ・今年度のテーマ等から毎年話し合っていく継続テーマと、新しいテーマを考えて決めるという2本柱にして、どちらを選ぶのかは子どもたちの判断にするという方法もあると思います。
- ・平成28年度の奈良市子ども会議参加者に、今年子ども会議で出された意見とその回答を事前に見てもらおう等、第1回目の会議開催時に昨年度の参加者が話す形にすれば、昨年度との継続がうまくいくのではないかと思います。

○浜田部会長

- ・テーマを一つにすることについては、一つにすればより具体的に話し合うことができるが、その一方で、他のことについて話し合いたい参加者もいるので、メリットもデメリットもあると思います。
- ・広報については、条例の広報にも関わってくるのでしっかりすることが大事だと思

います。

- ・来年度以降で、意見に対する回答をする際には、関係各課を交えての座談会等を一回行ってはどうでしょうか。
- ・継続したテーマで進めていく場合、関係する団体も関わってもらってはどうかと思います。(例えば、宝塚市では商工会議所と関わっている)

○岡田委員

- ・テーマについて大人が先に方向付けをしてしまうとあまりよくない気がします。子どもの自由な意見が出る方がいいような気がするので、テーマは事前に決めない方がいいと思います。

○栗本委員

- ・テーマについては募集の段階で出してもらい、選考するとか、今年話し合ったテーマについて紹介する等をすればいいのではないかと思います。
- ・開催回数について、子どもたちも部活や塾などで忙しいので、夏休みに集中して5回開催でいいと思います。

○竹村委員

- ・広報について、アンケートを見ても「チラシ」や「学校での案内」からの応募が多いので、それも踏まえてしっかりしてもらいたいと思います。
- ・テーマについて、一方では深めていき、一方ではまた新しい発想を持たそうという提案をしていくことが望ましいのではないかと思います。

(2) その他

事務局より、子ども会議で出された意見に対する回答については、現在調整中であること及び次回の子ども条例部会の日程等について説明しました。

資 料	【資料1】平成27年度奈良市子ども会議報告書(未定稿) 【資料2】奈良市子ども会議の検証について
-----	---